

総合的な利用メニューの充実に係る取組のバックデータ

1. 自然解説・自然体験学習プログラムの充実	2
1-1. 環境省主催による自然体験学習プログラムの実施	2
(1) アクティブレンジャー自然観察会	2
(2) パークボランティア自然観察ハイキング	2
1-2. 周辺地域の関係機関等と連携した自然体験学習プログラムの実施	3
(1) 周辺地域の小中学生を対象としたイベントの開催	3
(2) 地元勉強会の開催	5
(3) 上北山村主催イベント「心の道ウオーク」	6
2. 情報提供・情報発信の充実	7
2-1. 各種情報の活用	7
(1) 紀伊半島復興元年企画第二弾「日本百名山『大台ヶ原』の郷・上北山村」展	7

1. 自然解説・自然体験学習プログラムの充実

1-1. 環境省主催による自然体験学習プログラムの実施

(1) アクティブレンジャー自然観察会

(今年度は実施せず)

(2) パークボランティア自然観察ハイキング

近畿地方環境事務所 吉野自然保護官事務所では、五感を使って季節ごとの大台ヶ原の自然を感じふれあうきっかけをつくり、大台ヶ原の自然を分かりやすく紹介する、パークボランティア（PV）による自然観察ハイキングを実施した。これは、大台ヶ原の自然環境に親しみ、理解を深め、利用マナーの啓発を行うことを目的としている。

① 実施概要

開催日時：平成24年6月10日(日)、7月22日(日)、8月12日(日)、10月7日(日)

※ 各日、11:00～15:00

場 所：東大台周回線歩道

対 象：一般（小学生以下の参加は保護者同伴とした）

定 員：各回20名

参加費：100円（傷害保険代）

広 報：ホームページ、報道機関への情報提供、ビジターセンター、当日募集

② 内容

ガイドのスキルや経験を持つパークボランティアが先導又は解説を行い、アクティブレンジャーが安全管理を担当し、1グループにつき最低2人体制で実施した。

- ・ 国立公園の紹介及びマナー・ルールの案内
- ・ 季節の見頃の植物の紹介、有毒植物の周知
- ・ シカの食害問題についての紹介
- ・ 防鹿柵の紹介、効果の説明
- ・ 自然再生事業の取り組みの紹介
- ・ 生態系のしくみ紹介
- ・ 大台ヶ原の歴史の解説



写真1：PV自然観察ハイキングの様子(7月)

③ 実施結果

今年度は、シロヤシオ開花時期の6月、夏休み直前の7月、盆シーズンの8月と紅葉が始まる10月の計4回実施。参加者は計69名であった。

前年度同様に、開催前日までの予約者への確認連絡を行ったことにより当日キャンセルについては改善された。更に、6月は事前予約がなかったにも関わらず、当日集客で18名もの参加があった。特に7月及び8月は、奈良県が発行する夏休みイベントガイドに掲載されたこともあり、親子連れが多かった。

前年度の課題であったアクセスについても、事前に交通手段を聞き、迂回路の案内及び復

旧後はその旨の情報を提供したことで、混乱を避けることが出来た。

一方で、奈良交通バスのダイヤ改正に伴い開始時間を 11 時からとしたが、車の利用客が大多数であったことと、また、年齢層が幅広く、希望コースにもばらつきがあったことから、事前に情報を把握し、何種類かコースをある程度決めて案内する必要があると考えられる。

実際、8 月以降は前もって交通手段、参加経験、希望コース等を確認したことで、改善に繋がった。今後もできるだけ参加者のニーズに沿うような情報の把握、提供を心がけたい。

表1：PV自然観察ハイキング 実施結果

開催日程	予約者数	参加者数	アンケート回収
2012/6/10(日)	0	18	17
2012/7/22(日)	17	17	17
2012/8/12(日)	14	14	13
2012/10/7(日)	10	20	14
合計	41	69	61

1-2. 周辺地域の関係機関等と連携した自然体験学習プログラムの実施

(1) 周辺地域の小中学生を対象としたイベントの開催

上北山村が有する優れた資源である大台ヶ原に愛着を持ってもらい、そこで生じている森林衰退の現状や、環境省が中心となって行っている自然再生事業について関心を持ってもらうことを目的に、小中学生を対象としたイベントを開催した。

① 実施概要

実施日時：平成 24 年 11 月 21 日(水) 14:00～16:25

実施場所：上北山村立上北山中学校

参加者：上北山村立上北山小学校・中学校の児童・生徒及び教職員（児童・生徒 27 名、教職員 24 名）

実施内容：・ あいさつ 環境省近畿地方環境事務所 河原統括自然保護企画官

・ 講義「みんなの大台ヶ原の森について」 講師：奈良教育大学 教授 松井 淳

・ 平成 23 年度に行ったイベントで播種した苗（トウヒ・ナナカマド）の計測

・ 「トウヒとナナカマドについて」 講師：(株)環境総合テクノス 樋口 高志

・ 計測結果発表

② 実施状況

i 講義「みんなの大台ヶ原の森について」（講師：奈良教育大学 教授 松井 淳）

大台ヶ原はどういうところなのか、なぜ森は衰退したのか、なぜ森は回復しないのか、といったことについて、分かりやすく解説していただいた。

ii 平成 23 年度に播種した苗（トウヒ・ナナカマド）の計測

体育館で、平成 23 年度のイベントで児童・生徒それぞれが播種したプランターの苗木（トウヒ・ナナカマド）の高さを計測した（mm 単位）。

トウヒ、ナナカマドの計測を行った結果、最も大きい苗木は、トウヒは32mm、ナナカマドは99mmであった。トウヒ、ナナカマドそれぞれの苗木の高さ別の頻度分布を図1に示す。

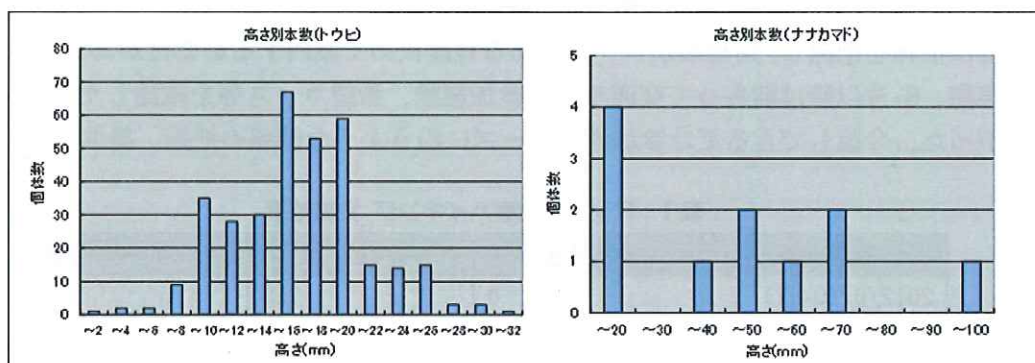


図1：トウヒ・ナナカマドの苗木の高さ別の頻度分布

iii 「トウヒとナナカマドについて」(講師：(株)環境総合テクノス 樋口 高志)

トウヒとナナカマドがどのような植物かを紹介した後に、大台ヶ原のトウヒがどのように成長したのかを自然再生事業で得られたデータと過去の記録を活用しながら、自然の中で樹木が育つには長い時間がかかること、森がいったんなくなると元に戻すにはとても長い時間と手間がかかることを説明し、自然を守ることの大切さを伝えた。



写真1：松井教授による講義風景



写真2：播種苗の計測風景



写真3：トウヒとナナカマドについての説明風景

③ 今後の予定

小中学生を対象としたイベントは、次年度以降も引き続き実施する予定であり、現時点での方針(案)は、以下の通りである。実施にあたっては、上北山村教育委員会と実施時期、内容等の調整を行いながら進めていく。

イベント実施方針(案)

3年を1サイクルとし、年1回程度イベントを実施する。大台ヶ原での現地イベントを3年に1回程度実施する(表1参照)。現地イベントを行わない時は、上北山中学校内で実施可能なイベントを実施する。

なお、自然再生事業の方針として「今後植栽を前提とした新たな苗木生産は行わない」としたが、要望があれば教育としての播種、苗木育成、植栽等を実施することも検討する。

昨年度に播種した苗木は大台ヶ原での現地イベントに合わせ、大台ヶ原の苗畑へ移動、植栽を実施する。

表1：小中学生を対象としたイベントの今後の実施方針(案)

	年度	イベント内容	場所
1 巡目	平成 23 年度	学校内イベント (播種)	上北山中学校
	平成 24 年度	学校内イベント (苗木の計測等)	上北山中学校
	平成 25 年度	現地イベント	大台ヶ原
2 巡目	平成 26 年度	学校内イベント	上北山中学校
	平成 27 年度	学校内イベント	上北山中学校
	平成 28 年度	現地イベント	大台ヶ原
3 巡目	平成 29 年度	学校内イベント	上北山中学校
	平成 30 年度	学校内イベント	上北山中学校
	平成 31 年度	現地イベント	大台ヶ原

※1 □ : 実施済。

※2 1 巡目で育てた苗木の状況を見ながら大台ヶ原の苗畑へ移動、植栽を実施する。

(2) 地元勉強会の開催

上北山村が有する優れた資源である大台ヶ原に愛着を持ってもらい、そこで生じている森林衰退の現状や、環境省が中心となって行っている自然再生事業について関心を持ってもらうことを目的に、地元勉強会を開催した。

① 実施概要

実施日時：平成 24 年 11 月 21 日(水) 19:00～22:00

実施場所：上北山村河合集落総合会館

参加者：上北山村の住民 (23 名)

実施内容：・あいさつ 環境省近畿地方環境事務所 佐山所長

・講義「大台ヶ原の魅力ある自然を守るためには」 講師：奈良教育大学 教授 松井 淳

・意見交換会

② 実施状況

「大台ヶ原の魅力ある自然を守るためには」という題目で、松井委員(奈良教育大学 教授)に、森林の更新動態に着目し、森林の世代交代のしくみ、大台ヶ原の森の変化の歴史、大台ヶ原自然再生事業に関する講義をしていただいた。その後、意見交換を行った。



写真4：佐山所長によるあいさつ



写真5：松井教授による講義風景

③ 今後の予定

地元勉強会は今後、適宜実施する予定である。

(3) 上北山村主催イベント「心の道ウオーク」

上北山村では、大台ヶ原や大峯など、村の観光資源を活用したイベント「心の道ウオーク」が継続的に開催されている。今年度は、大台ヶ原をコースとしたイベントが下記のとおり開催された（主催：上北山村地域活性化イベント実行委員会）。

表2：心の道ウオークの実施状況（平成24年度、大台ヶ原関係抜粋）

	開催日	コース	募集人数	参加実績	備考	
1	5月23日(水) ～24日(木)	東大台・大普賢岳	1泊2日	20人	13人	
2	5月26日(土)	東大台	日帰り	20人	—	最少催行人数に満たなかったため中止
3	5月28日(月)	西大台	日帰り	20人	22人	申込多数のため、バス乗車定員まで受付
4	6月8日(金) ～9日(土)	滝めぐり・西大台	1泊2日	20人	—	最少催行人数に満たなかったため中止
5	10月16日(火) ～17日(水)	東大台・滝めぐり	1泊2日	20人	—	最少催行人数に満たなかったため中止
6	10月20日(土)	西大台	日帰り	20人	22人	
	合計			120人	57人	



写真6：第1回の実施状況



写真7：第3回の実施状況



写真8：第6回の実施状況



2. 情報提供・情報発信の充実

2-1. 各種情報の活用

(1) 紀伊半島復興元年企画第二弾「日本百名山『大台ヶ原』の郷・上北山村」展

① 実施概要

期間：平成24年5月29日(火)～6月11日(月)

場所：かしはらナビプラザ 2階展示スペース

主催：橿原市

協力：近畿地方環境事務所、吉野自然保護官事務所

目的：昨秋の台風からの復興を後押しする企画として、上北山村の見どころを展示するイベントにて、日本百名山「大台ヶ原」の魅力を紹介すること。

② 展示物・展示状況

	展示物リスト	数量
1	大台ヶ原パネル(①, ④～⑩, ⑬～⑳)	各1
2	大峰山系パネル(②, ③, ⑥, ⑪)	各1
3	レンジャー服	1
4	樹木円盤(トウヒ)	1
5	シカ頭骨	1
6	ウラジロモミ苗	1
7	ラス	1
8	防鹿柵	1
9	だゆうくんパネル	1
10	折り紙	
11	西大台パンフ	
12	トウヒ苗(小・中)	各1
13	ツキノワグマ剥製	1
14	昆虫標本(小)	3
15	立ち木	1
16	大台ヶ原の映像(DVD)	1
17	大台ヶ原の生物閲覧資料(昆虫・植物・動物)	各1
18	昆虫標本(大)	3
19	ニホンジカの角	2～3
20	植物標本(トウヒ・ブナなどの実)	
21	ニホンジカ剥製	1



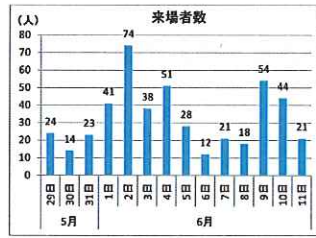
写真9：展示状況1



写真10：展示状況2

③ アンケート結果

総来場者数 463
 アンケート回収数 38
 有効回答数 35
 アンケート回収率 7.6%



1. どこからお越しですか？



2. このイベントをどこで お知りになりましたか？



凡例：①広報かしはら ②かしはらナビプラザチラシ ③ホームページ ④館内の案内を見て
 ⑤大和八木駅ホームから見て ⑥LEDビジョンを見て ⑦その他

3. 今回のイベントをご覧になって、特に興味を持たれたところなどがありましたら、お聞かせください。

大台の自然	6
上北山村の自然	5
自然の推移	3
自然の多様性	3
実際に見たい	3
他イベントの紹介	2
コケ	2
実生	2
水槽	2
年輪	1
ツキノワグマ	1
昆虫の展示	1
展示の見せ方に工夫が欲しい	1
パネル	1
フェンス	1
折り紙	1
全体的に良かった	1
土産	1
無効回答	11
合計(複数回答可)	48

4. 性別



年齢



5. 今後、かしはらナビプラザイベントスペースで見てみたい催しなどがありましたら、ご記入ください

奈良の行事・民話	4
奈良の自然	2
森と水の源流館	2
植物	1
和佐又山のライブ	1
曇	1
両生類	1
は虫類	1
奈良県内の写真展	1
川上村	1
イベントをたくさんして欲しい	1
無効回答	20
合計(複数回答可)	36

■過去の展示イベント実施状況

- 平成 20 年 10 月 21 日～10 月 31 日 @ 京都御苑
「近畿の豊かな自然展 吉野熊野国立公園 [大台ヶ原] & 瀬戸内海国立公園 [成ヶ島]」
- 平成 21 年 7 月 10 日～8 月 2 日 @ 京都御苑
「近畿の豊かな自然展 山と水の息吹を感じて」
- 平成 22 年 8 月 28 日～9 月 2 日 @ 「東京都(奈良まほろば館)」
「大台ヶ原の魅力発信展示会」
- 平成 22 年 10 月 9 日～10 月 31 日 @ 京都御苑
「生物多様性を考える大台ヶ原と京都御苑の生きもの展」
- 平成 22 年 11 月 13 日 @ 小処溪谷もみじ祭り
「大台ヶ原の情報発信」
- 平成 23 年 10 月 7 日～11 月 6 日 @ 京都御苑
「大台ヶ原と京都御苑、美しい自然展」